

議事概要記録

開催日時	平成 29 年 1 月 14 日 (土) 15 : 00 ~ 17 : 00	開催場所	済生会和歌山病院 7 階 多目的ホール
会議種別	平成 28 年度 第 7 回理事会	議長	畑 忠良
		書記	神藤 洋次
出席者 〈敬称略〉	竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、木下 博之、神藤 洋次、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、稲垣 充也、久保 光史、湊 健、脇村 小津江 田原 靖子、山本 須美子、相根 弘史、瀧口 良重、17 名		
欠席者 〈敬称略〉	田中 規仁	オブザーバー	勝山 浩樹
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第 7 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ データ標準化 ⑥ 会誌編集 ⑦ ホームページ ⑧ 会報 ⑨ 月例行事予定表 ⑩ 和歌山支部連盟 7. その他 和歌山県医学検査学会進捗報告 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度予算案審議 		
	決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・畑副会長より開会宣言があった。</p> <p>冒頭、竹中会長より挨拶があった。新体制で 2 年目に入り、理事同士は緊密に連携しあい、会員の手本となり、各事業でリーダーシップを発揮して行って欲しいと開会の挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告 日臨技関連として</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 近畿支部血液研修会の案内手続きでの不備で、和臨技会員が参加できない状況の説明があり、今後はこのような事が起きないように支部幹事会で対応を求めていくと報告があった。 ② 日臨技理事会において、日臨技会員加入保険は平成 29 年 6 月 1 日から A タイプのみの運用とし全会員に適用することになったと報告があった。 	

- ③ 厚生労働大臣表彰推薦について、竹中会長は日臨技より推薦され、和臨技は元会長で村田正吾氏を推薦したと報告があった。
- ④ 日臨技中四国支部臨床微生物部門研修会において赤字決算となり、補填することになったと報告があり、和臨技においても各事業で計画した金額内で賄えるようにと注意があった。
- ⑤ 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の全国修了者数は 30514 名（会員の 47%）、和歌山県は 60%であり修了者数を増やしていきたいので、各理事は広報を行ってくださいとの要請があった。

日臨技支部関連

- ① 2月4日（土）に近畿支部幹事会が開催されると報告があった。

和臨技関連として

- ① 2月15日（水）平成28年度医療従事功労者賞の贈呈式があり、竹中会長が受賞されると報告があった。列席者として大石副会長が出席する。
- ② 2月25日（土）和臨技学会関連事業
2月26日（日）第37回和歌山県医学検査学会が開催されると報告があった。

他団体関連として

- ① 1月25日（水）県病院協会学術大会企画運営会議があり大石副会長が代理出席すると報告があった。

第7回常務理事会報告

- ① リレー・フォー・ライフ・ジャパンin2017わかやまへの後援名称使用および会長の顧問就任依頼を受諾することを理事会で審議事項とすると報告した。
- ② 平成29年度和歌山県医学検査学会について
紀南北地区で開催すること、学会長は木下学術部長、実行委員長は相根理事で開催する案の申し出があり、理事会にて承認を仰ぐことを報告した。

事務局報告

- ① 11月4日（金）平成28年度精度保証施設認定申請について、申請可能施設には案内書の配布を送付したと報告した。
- ② 11月7日（月）リレー・フォー・ライフ・ジャパンin2017わかやまへの後援名称使用および会長の顧問就任依頼において、協賛金や課外活動参加は必須でないことを報告し承認された。
- ③ 11月16日（水）厚生労働大臣表彰推薦に和臨技より元会長で村田正吾氏を推薦したと報告した。
- ④ 12月26日（月）日臨技DVT検診マニュアルを日臨技より10部配布されたと報告し、配置場所を審議し事務局、学術部、生理検査班に1部、残りを各地域（紀北 市内 紀南南 紀南 御坊 有田 海南）に配置すると承認された。
- ⑤ 12月6日（火）第12回日本医療マネジメント和歌山学会後援依頼の受諾回答書を送付したと報告した。
- ⑥ 1月6日（金）病棟業務実践前講習会カリキュラムが開催されるので和臨技会員への広報や参加を要請した。
- ⑦ 2017年9月16、17日 大阪YMCA国際文化センターで開催される検体採取講習会が和歌山県担当決定したと報告した。また講習会実務委員の選出について審議し責任者を稲垣理事、実務委員を丸澤理事、田原理事、山本理事、その他の実務委員は理事の在籍施設より選出することで承認された。

- ⑧ 1月10日(火)平成28年度医療従事功労者賞に竹中会長が選出されたことを報告した。

学術部報告

- ① 平成29年1月28日(土)に新橋ビルで、学術部班長班員会議、精度管理委員会、コミュニケーション委員会を同時開催予定と報告があった。
- ② 日本臨床衛生検査技師会より小島三郎記念技術賞・福見秀雄賞 推薦依頼があり該当者なしと説明があり審議し承認された。
- ③ 平成28年度会誌和臨技の論文での会長賞選出を会誌発行前に先行して行うと報告があった。
- ④ 一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会 共催 協賛 後援内規案について和臨技役員各位の意見を聴取したいと説明があり、役員全員の回答を1月31日まで受付けて継続審議と確認した。
- ⑤ 前回の理事会で血液研究班班長より症例ライブラリを作成し勉強会等で使用したいと報告があり、患者情報等取扱いに関する内規を作成したので和臨技役員各位の意見を聴衆したいと説明があり、役員全員の回答を1月31日まで受付けて継続審議と確認した。

経理部報告

平成29年度予算案の審議をお願いしたいと報告があった。

各種委員会報告

公益事業活動

特になし

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

- ① 12月3日(土)に第2回災害対策委員会が開催され、年一回模擬訓練を行う予定で、対象は会員のいる施設とすると報告があった。
- ② 12月23日(金)に和臨技災害セミナー2016(大規模災害が起こった時 私達に何ができるのか)を開催し、参加者数は52名で、内容として稲むらの火の館 崎山 光一館長に稲むらの火の話、日本赤十字社和歌山医療センター救急看護認定看護師 松島 圭吾氏には自分たちに出来る応急処置などの講演を行ったと報告があった。
- ③ 決算書の報告があり、救急処置を行う予定であったが中止になり残金が多くなったと報告があった。

精度管理

- ① 和臨技精度管理事業の進捗状況を以下のように報告があった。
- (1) 12月22日(木)精度管理調査願いを送付。
 - (2) 報告書の作成期限は平成29年1月30日(月)
 - (3) 2月17日(金)精度管理報告会前に和臨技HPに報告書をアップする。
 - (4) 3月上旬に参加証と共に最終報告書をCDに各施設に配布予定。
- しかし来年度からは報告書の発行はホームページによる掲載のみの運用に切り替えたいと提案されたが継続審議となった。

データ標準化
特になし

会誌編集

論文は5題が集まり、発刊は3月になると報告があった。

ホームページ

現行の契約ではホームページの容量も少なく、掲載内容を整理するために、和臨技役員各位の意見を聴取したいと説明があり、役員全員の回答を1月31日まで受付けて継続審議と確認した。

会報

2017年3月までの内容で、会員へは冊子、賛助会員にはPDFファイルで2017年5月に発行予定と報告があった。また原稿の提供依頼があった。

月例行事予定表

12月より会員に対して月間行事予定表をメールリストで試験配布すると共に紙媒体でも送付し、賛助会員には電子媒体のみの配布と報告があった。

日本臨床検査技師連盟 和歌山県支部

宮島議員の活動報告や連盟の今後の活動報告があった。

第37回和歌山県医学検査学会

和歌山県医学検査学会プログラムの説明があった。(演題16題)

賛助会員の会費について協力の有無に関わらず一律1000円を徴収すると承認された。

平成29年度和歌山県医学検査学会について

紀南北地区で開催すること、学会長は木下学術部長、実行委員長は相根理事で承認された。

審議事項

平成29年度 15事業の予算案審議を行った。

- ① 渉外_災害フォーラム
- ② HIV AIDS 啓発活動及びHIV 即日検査
- ③ 医療セミナー
- ④ 和臨技会報
- ⑤ コミュニケーション事業
- ⑥ 会誌和臨技
- ⑦ 学術部 研究班勉強会
- ⑧ 一泊合同研修会
- ⑨ 平成29年度和歌山県精度管理
- ⑩ 平成29年度 全国健康と検査展
- ⑪ ピンクリボン紀南2017 熊野本宮大社ピンクライトアップイベント
- ⑫ 行事予定表
- ⑬ 和臨技ホームページ
- ⑭ 事務総務
- ⑮ 和臨技オリエンテーション

	<p>以上の予算書案を審議し承認された。また予算書案に変更がある担当理事は、再度事務局に提出するように要請があった。</p> <p>大石副会長より閉会宣言で、定期総会も控えていますので、和臨技役員の協力が必要であると挨拶があった。</p>				
記録作成	平成 29 年 1 月 14 日	氏 名	神藤 洋次	提 出	平成 29 年 1 月 19 日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可